

収録日：2025 年 4 月 22 日

直滑降ストリーム特別企画「県議と知事の紅茶懇談」は、群馬県議会議員をお招きし、親しみやすく身近なテーマでお話をするシリーズです。

それぞれの県議の人柄や趣味の話など、幅広く話をしています。議会でのやりとりだけではなかなか見えない部分も、お伝えできると考えています。

第7回目のゲストは、自民党の中島豪県議です。番組では、小学生の頃から打ち込んだサッカーをはじめ、趣味の朝ランニングや家庭菜園、好きなエンタメなどについて、お話を伺いました。中島県議のまっすぐで誠実なお人柄が随所に感じられる内容となっています。



第7回 中島 豪 県議（自由民主党）

山本一太群馬県知事（以下、知事）
群馬県知事の山本一太です。直滑降ストリーム「県議と知事の紅茶懇談」第7回目を配信させていただきたいと思います。

毎回申し上げているんですが、二元民主制ということで、知事と県議会が両輪となって県政を作っているんですけれども、「県議会議員ってどういう存在なんだろう」と、あまりご存じない方もいらっしゃるということがわかりました。

そこで、群馬県議会の県議の皆

さんをお招きして、県議の“人となり”がわかるような人生哲学や趣味などを発信し、県民の皆さんに県議会に親しみを持っていただく、そういう趣旨で配信しています。

第7回目のゲストは、自民党の中島豪県議です。よろしくお願いします。“豪（つよし）さん”と呼ばせていただいてよろしいでしょうか。

中島豪県議（以下、県議） はい、よろしくお願いします。

📄プロフィール

知事 まずは、プロフィールをご紹介します。選挙区は高崎市、会派は自由民主党、当選回数1回ということで、最年少ですね。

県議 はい、今は34歳で、当選したときは32歳でした。

知事 出身地は高崎市、趣味はサッカー、朝ランニング、家庭菜園ということです。前橋育英高校のサッカー部だったということで、この話も後で伺えたらと思います。

出生立ち

知事 最初に、どんな子ども時代だったかというところからお話を聞いていきたいと思います。

県議 眉毛も繋がっていましたが、ずっと鼻水を垂らして、走り回っているような子でした。

でも、少し成長すると、父が議員だったこともあり、「礼儀正しくしろ」と言われていました。引っ込み思案なタイプだったのかなと思います。

知事 ご両親は厳しかったんですか。

県議 父は議員で忙しくて、夜のお付き合いがあって家にいないことが多かったです。

知事 ご存じの方もいると思いますが、お父様は市議や県議として活躍されていたんですね。私の父親である山本富雄の頃から大変お世話になっていた方でした。あまり家にいなかったのですか。

県議 極端な話、私が朝出るときには父がまだ寝ていて、父が夜帰る頃には私が寝ているような状況で、たまに会うと敬語になるくらいでした。会っても何をしゃべればよいかよくわからず、小さい頃は父と関わった思い出はあまりないです。

ですが、20歳過ぎてお酒を飲めるようになってから、ようやく関わりが増えました。

知事 おとなしい子どもだったんですか。

県議 そうですね。あまり前に出たがる子どもではありませんでした。今でも前に前にというタイ

プではないとは思いますが。

知事 小学校は高崎市で、何かクラブ活動などはしていたんですか。

県議 小学校2年生から地域のサッカーチームに入っていました。

父は野球で2年連続甲子園に行っていたので、野球をやらせたかったんだと思うんですけど、小さいころから父とのキャッチボールが厳しくて怖かったです。強いボールを受けるのですが、「取り方が悪い」とかいろいろ言われて…(笑)。そんな中、兄がサッカーを始めたので、自分も付いて行って始めました。

中学では高崎FC(現:アスブロンサ高崎FC)に入り、3年生の時に県大会で優勝することができました。そうしたこともあって、名門である前橋育英高校に進学したいなと思うようになりました。

ただ、前橋育英高校は全国から選手が集まることもあり、レベルがあまりにも高くて…。ここまで大変なところなのかと感じました。

知事 どちらかという、おとなしい子どもだったということですが、スポーツをやっているから、友達や先輩後輩との関係も広がるとは思いますが、どうでしたか。

県議 高校では実力主義で、1年生でも3年生でも関係なく、実力があれば試合に出られました。ですが、上下関係というのは大切にされていて、今でも色々な先輩方に飲み連れて行っていただいた

りしています。

知事 豪さんの子ども時代を語る上でキーワードになるのは“サッカー”だと思います。

過去2回全国制覇を成し遂げた前橋育英高校のサッカー部は群馬県の誇りで、私も国立競技場で優勝の瞬間を拝見させていただきました。全国からすごい選手が集まっているということで、どうでしたか。

県議 始めは憧れのような気持ちで入学しましたが、周りには県選抜のチームと一緒にいた選手もいたので、大丈夫だろうという感覚もありました。

しかし、1年生の時は試合に出られたのですが、下からも日本代表クラスの生徒が入部する中で、出られないことも多かったです。
知事 先ほども伺ったとおり、実力主義なんですね。1年生だろうが3年生だろうが関係なく、本当に実力のある人が試合に出られるということですね。

知事 監督の山田(耕介)先生は「同じレベルなら(将来を見据えて)下級生を使う」とおっしゃっていました。

知事 山田先生は指導者として素晴らしいですね。前橋育英高校の雰囲気も教えてもらえますか。

県議 私の代では、前橋育英高校と前橋商業高校が強い時代で、どちらかという、前橋商業高校のほうがすごく上下関係が厳しい印象でした。前橋育英高校は、どちらかというクラブユースに近い雰囲気だったと思います。

知事 豪さんも県選抜に選ばれていたということは、県内の中学サッカー界では有名だったのですね。

県議 そこそこはできたかもしれませんが（笑）。ですが、前橋育英高校に行けば、関東選抜がいたり、世代別日本代表がいたり、上には上がいました。

知事 前橋育英高校サッカー部の特徴はどんなところでしょうか。

県議 部員が120人くらいいたのですが、チャンスは平等にありました。頑張れば、1軍で出られるチャンスも巡ってくるのですが、諦めた瞬間にそこで終わってしまうような世界だったと思います。2軍、3軍にいた選手がいきなり1軍に上がることもありました。

知事 実力主義だったということですが、活躍する選手は礼儀正しさも大切にされていたんですか。

県議 山田先生は礼儀に厳しく、「サッカーだけではなくて、高校を卒業したら社会に出ていくんだから、そこで生き残っていくことが大事なんだ」とおっしゃっていました。

知事 山田先生の下で前橋育英高校は強くなっていきましたが、どんな指導方法だったのでしょうか。

県議 根性論のところも強かったかもしれないですね。技術的なところはもちろん必要だと思いますが、「人間性がダメな選手は結局ダメになる。パーソナリティ

が大事なんだ」とよくおっしゃっていました。実力があっても、自分勝手な行動をしてしまうような選手は大会前でも外されることがありました。

知事 その中でどんどん強くなっていったわけですね。前橋育英高校サッカー部の強さの秘訣はどんなところでしょうか。

県議 全国レベルの選手が集まって切磋琢磨できるというすごい環境だったので、それが一番だったと思います。

知事 現在、最年少の県議として活躍されているわけですが、高校時代の3年間、全国トップレベルのチームの中で得られたものは何ですか。

県議 自分は中学までは試合に出られたんですけど、高校では試合に出られない状況が多かったです。その中で、裏方を経験できたことは自分にとって本当に意味のあることだったなと思います。試合に出られる人もいれば出られない人もいて、見えないところで支える人がいるからチームが成り立つということを学びました。

知事 高校を卒業されてからは大学に進学されたのですか。

県議 高崎経済大学に進みました。

知事 高崎経済大学もすごく良い学校ですね。特に良いと思うのは、「地域経済に貢献する人材を育てたい」という思いがはっきりしているところです。色々な職業や地域おこしの現場に飛び込んでいくというところがありま

すよね。

そんな豪さんが政治家を目指した理由は何だったのでしょうか。

県議 正直、小さいときは父が議員をやっているのが嫌でした。選挙を手伝ったり、頭を下げたりするのが嫌で…。

そんな時に、父が高崎市長選に挑戦して、落選したのですが、いろいろな方たちから「もう一度チャレンジしてほしい」と声をかけてもらっていたんです。その姿を見て、「父は議員という仕事を通じて、地域の役に立っていたんだ」と感じて、自分もいつか跡を継ぎたいと思いました。

知事 県議になる前は、議員の秘書をしていたんですか。

県議 清水真人参議院議員の秘書をしていました。いつか政治家になることを意識して秘書をしていました。

知事 何年間くらい秘書をされたんですか。その後、その経験が役に立ったと思いますが。

県議 4年間いました。非常に勉強になったと思うのは、私は高崎で生まれ育ったのですが、秘書として前橋や利根沼田などの違う地域を担当したことで、地域ごとに課題も全然違うと身に染みて感じられたことです。

知事 国政を身近に感じられたこともすごく役立っていると思います。政治家になって2年目ですが、県議会はどうか。思っていた印象とのギャップはありますか。

県議 父を見ていたので、大きな

ギャップはないですが、毎日いろいろな会合や活動のお付き合いがあって、家にいる時間はほとんどないですね。

県議としてやりたいこと

知事 政治家としてやりたいことはありますか。

県議 予防医療にすごく関心があります。「群馬県に住んでいれば健康になる」みたいになればいいと思いますし、ウェアラブル機器を活用して皆さんが自然に健康を意識できるような形ができればと思っています。

知事 これは重要ですね。予防医療というのは、これからの時代に必要なことだと思うので、ぜひいろいろな提案してください。

趣味

知事 趣味についてもお聞きしたいのですが、朝にジョギングをしているんですか。

県議 はい。夜は会合が多いので、健康に気を遣わないといけないと思っているのですが、朝しか時間が取れなくて。6時には走り始めて、5キロを30分くらいで走ります。そこまで早くなく、ゆっくりなペースで。

知事 最近ハマっていることもあるとお聞きしました。

県議 最近は家庭菜園にハマっていて、キュウリ、ナス、モロヘイヤなどの夏野菜を作っています。

知事 自分で育てて、収穫して、食べたら感動しませんか。

県議 感動しますね。ただ、病気

になったり形が曲がったり、作るのは難しいです。作物ひとつを作るのもこんなに大変なんだなと思いながら作っています。

知事 エンタメ系でハマっているものはありますか。

県議 映画は『キャスト・アウェイ』が好きで、何回見ても感動します。無人島に一人でいると、あれくらいの極限状態になるんだな、という感じで。

他には、『プライベート・ライアン』『ターミナル』も好きです。

知事 『プライベート・ライアン』も素晴らしいですね。

県議 冒頭30分の手汗握る展開はすごいですね。

知事 好きな漫画もありますか。

県議 『アオアシ』というサッカー漫画が好きです。フォワードだった主人公がサイドバックに転身する話なのですが、自分も影響を受けて、今もサッカーをする時は漫画に出てきた動きなど意識してしまいます（笑）。

知事 私もアニメで見たことがあります。プレイヤーの心理状況を上手く描いていますよね。

県議 そうですね。実在する高校のチームがモチーフとして出てくるのも面白くて、前橋育英高校も出てほしいなと思ってしまいます（笑）。

知事 NHKの『映像の世紀』もよく見るということですが、あの番組は作りこみがすごいですよね。

県議 見ていると、勝手に時間が過ぎていくような感じがして、とても面白いです。

政治家としての哲学

知事 いろいろと伺ってきましたが、豪さんが政治活動で大事にしていることはありますか。

県議 父から受け継いだ政治信条ですが、「聞く・見る・言う、そして働く」です。これが政治の基本だと思っています。まず話を聞いて、現場に行って、職員とも話をする姿勢を大事にしています。

群馬県の魅力 30秒PR

知事 最後に、群馬県の魅力を30秒で語っていただければと思います。

県議 交通の便が良くて、自然も多いところが群馬県の魅力だと思います。群馬県に住んでから別の場所に行くと、「また群馬に戻りたい」と思う方が多いので、ぜひ一度、住んでみていただければと思います。

知事 ありがとうございます。高崎の魅力もお願いします。

県議 高崎も同じように、自然と街が近くて、おいしい飲食店も多く、住みやすい街です。ただ風は強いです（笑）。

知事 ありがとうございます。本日は、現在最年少県議として活躍している中島豪さんに来ていただきました。

予防医療に思いがあるということなので、いろいろな提言をしていただければ、知事として受け止めますので、これからもよろしくお願いします。

本日はありがとうございます。

県議 ありがとうございます。